

平成 27 年度 学校関係者評価委員会 議事録 (要約)

実施日：平成 27 年 11 月 10 日 (火) 13:30~16:30

(理容科に対する質疑 13 時 30 分~15 時 00 分、美容科に対する質疑 15 時 00 分~16 時 30 分)

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアービューティー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアービューティー専門学校 校長)
福澤寿和 (愛知県理容生活衛生同業組合 理事長)
川野公稔 (指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長)
岩田壮介 (名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校 事務長)
近藤文峰 (第一学院高等学校 教諭)
國島徳博 (株インテンド 代表取締役)
尾関之一 (ベリーバイヘアースポットオゼキ経営)
廣瀬麻美 (理容ヒロセ) 順不同

オブザーバー

山口 孝 (アリアービューティー専門学校 広報主任)
森山郁子 (アリアービューティー専門学校 事務主任)
福本稔巳 (アリアービューティー専門学校 教務主任)

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
職業実践専門課程に対する取組みの決意と合わせ冒頭の挨拶。
- (3) 本校の紹介
- (4) 職業実践専門課程及び学校関係者評価委員会の説明
- (5) 学校関係者評価委員紹介
- (6) 本校教職員紹介
- (7) 委員長選任
- (8) 自己点検評価結果についての説明
教育理念目標・学校運営 (山口)
教育活動・学修成果・学生支援 (福本)
教育環境・学生受入募集・財務・法令厳守 (森山)
社会貢献・国際交流 (山口)
以上、達成状況及び取組状況について報告した。
- (9) 質疑・討議及び意見交換
各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。
(詳細は後記のとおり)

(10) 閉会

終わりに、校長から次回は2月中旬から3月中旬にかけて実施予定を報告。また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

点検・評価項目に係わる達成状況に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○福澤寿和 委員 (理容)

評価項目1-3に関して、学校の理念・目的等及び1-4に関する教育目標は教職員の見えるところに貼ってあるのか。また、2-4に関し人事・給与に関する規定(就業規則)の見直しは適時行っているのか。

(学校側)：教育理念等は職員室内に掲示してあるものの、唱和をしたり確認をするようなことはしていない。今後は朝礼等を活用し、職員全員への落とし込みをしっかりとしていく。就業規則等に関しては労基法の改定に合わせ適時行っているが、今後パート勤務の職員採用を予定しているので、パートタイム労働法に沿った正規社員以外の就業規則を作成する予定です。コンプライアンス(法令順守)は学生においても、職員においても最重要と考えております。

○岩田壮介 委員：(理容・美容)

評価項目2-7に関して、教育活動に関する情報公開はどのように行われているのか。7-2に関し、教育成果はどのように伝えているのか。また4-3に関し、退学率は実際どのくらいの数値なのか。

(学校側)：日々の情報公開に関しましては、月曜日～金曜日まで毎日HP上のフェイスブック及びブログを使い、学生の様子や業界情報を新規公開している。教育成果に関してはHP上での公開や年2回校内新聞(ABC通信)を作成し保護者向けに発

送している。(確実に保護者にも届けられるよう、親宛に郵送している。)

退学率に関しましては、平成 20 年度までは高等課程(中卒クラス)があり、年間 10 名前後の退学者がいましたが、ここ近年は理容科は過去 5 年間 0~1 名であるが、美容科は 3 名~5 名ほど退学者が出てしまっている。退学理由としましては、(本人からの報告)教育内容が自分に合わない、興味・関心が変わってしまった、結婚した、家庭の経済的理由、学業不振等の理由が多く、近年のリストラや倒産が等による家庭の経済的理由によるものを除けば、学生自身に起因するものが多いのが実情です。学校側の問題としては、授業内容や教育施設・設備が不十分だったり、カウンセリングを含め、学生に対するフォローが不十分であったかもしれません。一部の声ですが、進学目的をきちんと考えさせないまま進学させてしまった保護者や高校側の意見もありました。

○川野公稔 委員(理容・美容)

評価項目 5-3 に関し、学生に対する経済的支援はどのようなものを考えているのか。

(学校側)：以前は学校独自に金銭貸借契約を整備して希望者に貸与していたが現在は廃止している。入学試験において高校側学校長の推薦にて大きな免除制度はあるが、弊社としては入学後の本人の努力に対する報いを重視することを考えている。具体的には学生技術大会等で活躍した者に対し、経済的支援を計画している。内容として、全国理容美容学生技術大会出場者全員 100,000 円、愛知県専修学校各種学校連合会長賞推薦者 50,000 円、愛知県知事賞推薦者 50,000 円、各種理容美容技術競技大会優勝者 30,000 円、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事長表彰推薦者 30,000 円を検討している。日本学生支援機構等の制度は整えておりますが、多額の借入れを抑えるため卒業後でも納入できる延納制度を薦めています。以上の事は、学校パンフレットの「学費・入試」のところでも伝えています。

○近藤文峰 委員(理容・美容)

評価項目 8-4 に関し、情報公開に関しては財務面もしっかり公開なされており、また随時卒業生で貴校にお世話になっている者の様子をお知らせに来ていただいている。評価を 3 から 4 にしてもよいのではないかと。退学者に関して勤務先高校の取組みをお話いただく。

(学校側)：出身校への近況報告は非常に大事なことであると思っております。良いことも悪いことも報告するようにしている。退学者への取組みは非常に参考になります。

弊社も以前はやる気モチベーションの問題が大きかったですが、最近では精神的不安定からくる退学希望者も見受けられます。小学校・中学校では、児童・生徒一人ひとりの実態に応じた学習環境の整備並びに健全な成長を支援するための、「スクールカウンセラー巡回相談」を行っています。これは、専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーが定期的に学校を訪問し、児童・生徒に必要な支援はどうあるべきかについて、専門的な立場から適切な指導助言やカウンセリングを行う事業で、弊社においても、今後考えていってもいいかと思っています。

○尾関之一 委員（理容・美容）

評価項目 4-2 に関し、資格取得率に関し、他校との比較はなされているのか。教育面に関しましてはもっと高い評価でもよいのではないか。

（学校側）：国家試験合格率に関しましては、厚生労働省より全国の理美容学校の結果が送られてきます。国家試験には自信があり、他校との比較を広報面でもっと打ち出したいのですが、同業間ではあまり露骨に合格率や学費の比較対照は自主規制しているようです。また弊校の教育に対する考え方ですが、専門学校へ入学することだけが目的ではなく、その道で社会人としてやっていけるのかが重要であると考えています。学力だけでなく、「理念に合う」学生を求め、また入学後どう育てるかの方がはるかに大事だと思っています。教育の功績は「気づき」を後押しすることだと考えています。このことは、学校パンフレットの「学費・入試」のところで伝えています。

○國島徳博 委員（美容）

評価項目 4-3 に関し、学校では退学者問題が大きな課題だが、業界では離職者が他の職種に比べ高いのが大きな悩みです。貴校は退学率が低いので、教育面の評価はもっと高くても良いと思います。

（学校側）：学校としましても、離職率の高さは大きな問題と捉えており、就職後も職業訓練校を設け、企業任せにせず学校が間に入り卒業後のサポートをしております。また就職先もどこでもいい訳ではなく、社会保険がしっかり完備され、安心して働くことができるよう学校及び後援会組織が優良企業を紹介しております。私たちの最終的な目標は「若い方にこの業界を将来担ってほしい」ことであります。業界間の離職率の問題、また新規学卒者（学歴）間での離職状況もたしか卒業後3年以内で中卒で60%超え、高卒で約40%、大卒でも30%超えだったと思います。

学校としては、長時間労働から学生を守り、労働環境がよくないと判断した企業は求人票から必ず外しております。技術を磨く、経営者を目指す、出産後も活躍したい等社員を大切にする職場を第一に就職支援をいたしております。学校パンフレットにも「就職率 100%」より「離職率 0%」を強調しております。また、復職支援にも力を入れ、もう一度、理容師・美容師として活躍したい。でもブランクがあるから不安・・・という方にも復職のための支援を行っています。特に女性は結婚や出産で一度辞めてしまうと、なかなか復職しづらいのが現状です。アリアーレビューティー専門学校後援会の方には、「労働環境の改善を最優先で進めるサロン」を掲げてもらっています。

以上
記録：山口

平成 27 年度 学校関係者評価委員会 議事録 (要約)

実施日：平成 28 年 3 月 1 日 (火) 10:00~13:00

(理容科に対する質疑 10 時 00 分~11 時 30 分、美容科に対する質疑 11 時 30 分~13 時 00 分)

場 所：学校法人 愛知理容学園 アリアーレビューティィー専門学校 2 階 A 教室

出席者：委員 池山英一 (アリアーレビューティィー専門学校 校長)
福澤寿和 (愛知県理容生活衛生同業組合 理事長)
川野公稔 (指吸会計センター(株) 名古屋支店 支店長)
近藤文峰 (第一学院高等学校 教諭)
國島徳博 (株インテンド 代表取締役)
尾関之一 (ベリーバイヘアースポットオゼキ経営)
廣瀬麻美 (理容ヒロセ) 順不同

欠席者：委員 岩田壮介 (名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校 事務長)
平成 28 年 2 月 19 日 (金) に名古屋ユマニテク歯科製菓専門学校にて
意見等を聴取し会議に報告する。

オブザーバー

山口 孝 (アリアーレビューティィー専門学校 広報主任)
森山郁子 (アリアーレビューティィー専門学校 事務主任)

委員会次第 (概要)

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
職業実践専門課程に対する取組みの進捗状況と合わせ冒頭の挨拶。
- (3) 平成 28 年度法人 (学校) 事業計画及び業務計画、予算書報告 (森山)
- (4) 平成 28 年度 (平成 29 年度生) 募集パンフレット説明 (山口)
- (5) 平成 27 年度 (平成 28 年 3 月卒業生) アンケート実施報告 (山口)
- (6) 授業見学 (1 年生理容科・美容科、2 年生理容科・美容科) (案内・池山校長)
- (7) 質疑・討議及び意見交換
各評価委員から、自己点検・評価報告に対する質疑、ご意見やご指導を頂いた。
(詳細は後記のとおり)
- (8) 閉会
終わりに、校長から平成 28 年度は第 1 回目を平成 28 年 7 月 5 日または 7 月 12
日に、第 2 回目を平成 29 年 1 月 31 日または 2 月 7 日にかけて実施予定を報告。

また校長より各委員へ貴重なご意見に対するお礼の挨拶。

質疑・討議及び意見交換について

次第に関する質疑を含め、当校に対しての要望、意見等を含め、次のような貴重なご意見を頂いた。

[各評価委員からの質疑・ご意見等及び当校からの回答] (順不同)

○福澤寿和 委員 (理容)

次第項目 (3) に関して、学生数が収入の大半を占めるという報告であるが、現時点で収入に対する予定入学者数は確保できているのか。組合側でも組合員増が喫急の課題であり、インターンシップ制度の導入等を行っている。また現組合員の営業支援として、「女性シェービング」や「男性エステティック」に力を入れ満足度を上げている。社会貢献として「ボランティア活動」「訪問福祉理容」を打ち出し、毎年9月第3月曜日を理容ボランティアの日とし、タオルの寄贈や福祉施設でのカットを行っている。福祉活動に関して、愛知県や名古屋市に対し補助金等要望書も上げている。今年度、来年度に向け、理容師法・美容師法の運用改善、規制緩和が大幅にあり、注視しているところです。

(学校側)：学生の確保に関しては、現時点でクリアしております。まだ今月11日には最後の入試を控えており、少しでも人員確保に努めてまいります。収支計画は厳しい状況ですが、予備費に750万円組んでおり一層の経費節減をしております。学校として地域貢献・社会貢献への取組は毎月1回の学生を中心とした町内清掃、日本赤十字社への献血活動等があります。また課外授業の一環として先月8日には千種区選挙管理委員会による「選挙出前トーク」を行っていただきました。選挙権が18歳からになり、アリアーレ生にも次期参院選から有権者になります。当日の様子が朝日新聞にも掲載され、当校の認知度アップにもつながりました。組合様が行っている男性エステティックや訪問福祉理容にも取り組んでいきたいと思しますのでポスター等の販促グッズをいただくとありがたいと思います。全理連からの情報等も逐一お願いしたいと思います。

○川野公稔 委員：(理容・美容)

次第項目(4)に関して、Web 通信サポートの利用率はどのくらいあるのでしょうか。

また教育訓練給付制度について説明をお願いします。次第項目(3)に関して、財務分析を行い収支バランスの観点からの課題として、減価償却分の金銭確保をしっかりとする必要があります。学校の収支に係わらず積立をしていかないといつか来るであろう大規模修繕に間に合わなくなります。

(学校側)：Web 通信サポート制度に関しましては、国家試験科目である実技・筆記(5科目)対策として70コマ(1コマ10分)分の講義を動画配信し、在校生がパスワードを用いてスマートフォンやパソコンで視聴できるものです。動画は当校教員による完全オリジナルなものであり、他社等の既成品ではありません。準備期間に1年を要し、昨年4月より運用開始をしております。学生の利用率までは現在ご報告できる分析ができておりません。ただ、誰がどのくらい(何回)、どの動画を見ているかはわかりますので、確認していきたいと思います。学生にもよりますが、かなりのアクセスがあります。維持経費が月間10万円かかっており、経費の部分で現在業者様と見直しを行っています。教育訓練給付制度につきましては、平成26年10月より始まった雇用保険法の「専門実践教育訓練給付金」制度のことです。少子高齢化等による厳しい学生募集に対し、高校生だけでなく、大卒等若年者に少しでも学びやすさの環境を用意しました。こちらも合格率が80%維持していないと認可がおりませんので、愛知県内の理美容学校では現在2校しかこの制度はありません。教務のがんばりも必要です。予算に関しましては、単なる決算数値の適正化の検証にとどまらず、予算の執行結果という視点で実績を捉えた会計監査、さらには大元の予算編成までを視野に入れた大局的見地での会計を心掛けていきたいと思います。

○近藤文峰 委員(理容・美容)

次第項目(4)に関して、アリアーレの強みとして5項目挙げてあるが、昼間生募集に力を入れているのか、それとも通信生なのか。昼間生に対する項目は1. 2. 4. であり、昼間生メインならアリアーレ強みは3項目のみでよいと思います。私の高校生に対する上級学校の勧め方としては、パンフレットはたくさん来ますが、自分の目で見に行くようにまず伝えます。パンフの段階でその数は絞られるのですが、学校見学でその学校の通常の授業風景を見てくること、出口である就職のことは、聞いて来るように指導しています。

(学校側)：学生募集に関しましては、「将来若い方に業界を担っていただきたい」という想いで、まずは昼間・通信にとられることなく免許を目指す方向けの広報をしています。学校としては昼間生の方が収益があるのですが、個人間事情もあります。なお現在、遠方者からの入学者向け（愛知県内出身者でも利用可能）に「自立支援制度」というものがあります。これは、学校に通いながら、同時にサロンで働き、自身の力で在学中の生活費をまかなう制度です。どんなメリットがあるかと申しますと、①サロンで働きながら現場力が身に付く、②就職先が決定する前に、実際の仕事の様子を知ることができるので、夢への目標が明確になる、③生活費の負担が少ないので親孝行ができる点です。進学したいけれど費用が気になる方はたくさんいます。体験入学等に関しましては、年 2 回在校生全員出校日にあて、高校生等に「なりきりアリアーレ生」で実習だけでなく、学科の授業も参加していただいております。学校選びは各人色々ありますが、共通しているのは国試合格率、学費と就職です。

○国島徳博 委員（美容）

次第項目（4）に関し、専門学校間で学生数の浮き沈みが激しく・大きくなっているのは、よく存じております。18歳の高校生からすると、見た目を選ぶ傾向はやはりあり、校舎を建て替え、パンフイメージを変えたところは学生数が増えていると思います。可愛くキュート、またはかっこいいエレガントな感じのパンフレットですね。見た目を重視されないところはよくないです。また学校行事では、入学式後に新入生向けに在校生のパフォーマンスを開催し、1年後のイメージ作りをしているところもあります。

(学校側)：パンフレットに関しましては、今までは32ページ構成でしたが、3月3日納品の次期からは24ページに集約し学校を打ち出ししております。経費削減ではなく、長いページ分作成しても、読み手がそこまで関心がないこと。(読み込む力がない。)今回は絵本をイメージして作りました。作成業者は同じですが、当校の編集者は交代しております。学校行事ですが、やはり最大イベントは卒業式になりますのでその辺りの創意工夫から始めたいと思います。

○廣瀬麻美 委員（理容・美容）

次第項目（5）に関し、卒業生としてアンケートに参加しましたが、アンケート内容は全教員間で共有されていると思っていました。説明からは校長及び役職者間で止まっているとの事。しっかり見てくれると思って真剣に書いているので、アンケート

は全教職員に見せた方がよい。次第項目(6)に関して、1年生理容科では技術競技大会(愛知県理容競技大会 ワインディング)に向けてタイムを計っていたが、巻くどころか、まだ髪をとかしている者がいた。私は在校中にやる気があるのに、無い子を見ると嫌になりました。また、入学直後はモチベーションが高くても、途中「大会なんてどうせ・・・。」と悲観する者もいました。しっかり盛り上げながら、わかりやすくやってほしいですし、姿勢・態度も気になる。入学後、初期の段階での指導に問題があるのではないかと。

(学校側): アンケートに関しましては、取ってはいるものの、しっかり活用できていない多分にあると思います。職業実践課程での活用が主たる目的なのですが、生かさないと意味がありません。早急に検討いたします。教職員評価にも取り入れる可否については役員判断になると思います。授業に関しましては机に食べ物があつたり等誤解を与えるものもありました。今後指導を徹底してまいります。

○尾関之一 委員(理容・美容)

次第項目(6)に関し、授業風景を見て、保護者・保証人である私の学生がいました。教室の使い方等問題はないのですか。

(学校側): 定員40名教室なので、座学はよいですが、実習等で利き手が交差すると手狭い感はあるかもしれません。理容師・美容師養成施設指定規則では、普通教室の面積及び実習室の面積ともに、生徒1人当たり1.65平方メートル以上であることが決められています。弊社の場合、1教室40名定員で作られています。また、専修学校設置基準等において、教育上必要があるときは、学年又は学科を異にする生徒を合わせて授業を行うことができ、その時もこの平米数が大事になります。また、平成25年3月のトータルビューティー科の廃止に伴い、普通教室が2教室分空いている状態です。2年課程として、入学定員40名、総定員80名分に余裕があります。

以上
記録: 山口